

Cyber Com

2022年12月期 決算説明会資料

サイバーコム株式会社

2023年2月27日

(証券コード：3852)

本日の内容

- I. 2022年12月期決算
- II. 中期計画状況（2021～2023年度）
- III. 今後の経営戦略
- IV. 参考資料

I . 2022年12月期決算

1. 決算ハイライト

■ 売上高・営業利益ともに過去最高業績を更新！

(単位：百万円)

	前期 (2021年1月～12月)	2022年12月期 (2022年1月～12月)	前期差	前期比	計画差	計画比
売上高	15,528	16,628	+1,099	+7.1%	+328	+2.0%
営業利益	953	1,054	+100	+10.6%	+54	+5.5%
(営業利益率)	6.1%	6.3%	-	-	-	-
経常利益	1,031	1,084	+52	+5.1%	+64	+6.3%
(経常利益率)	6.6%	6.5%	-	-	-	-
当期純利益	704	804	+99	+14.1%	+104	+14.9%
(当期純利益率)	4.5%	4.8%	-	-	-	-

■売上高

主力のソフトウェア開発事業で制御ソフトウェア開発及び業務ソフトウェア開発が好調に推移したことから 166億28百万円（前期比 7.1%増）と増収になりました。

■営業利益

増収及び各種経費の減少等により 10億54百万円（前期比 10.6%増）と増益になりました。

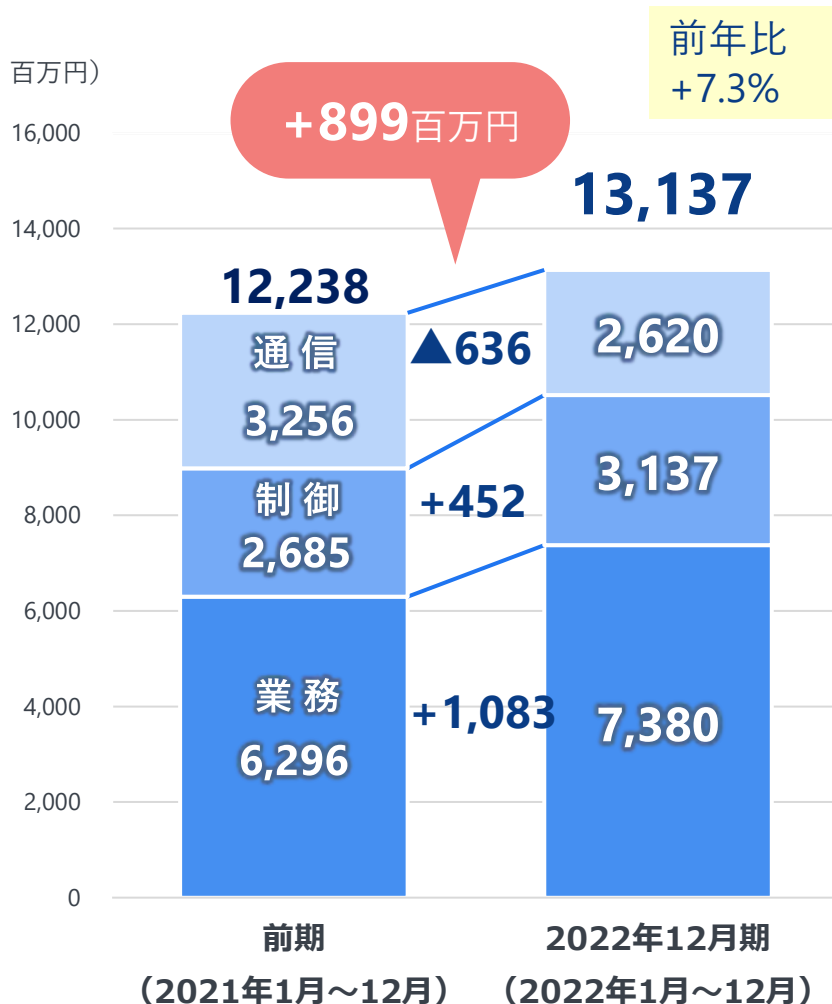
■当期純利益

人材確保等促進税制による税額控除等により、8億4百万円（前期比 14.1%増）と増益になりました。

2. セグメント別売上高 1 / 2

ソフトウェア開発事業

(単位：百万円)



TOPICS

通信ソフトウェア開発

一部作業案件の一巡による反動減

制御ソフトウェア開発

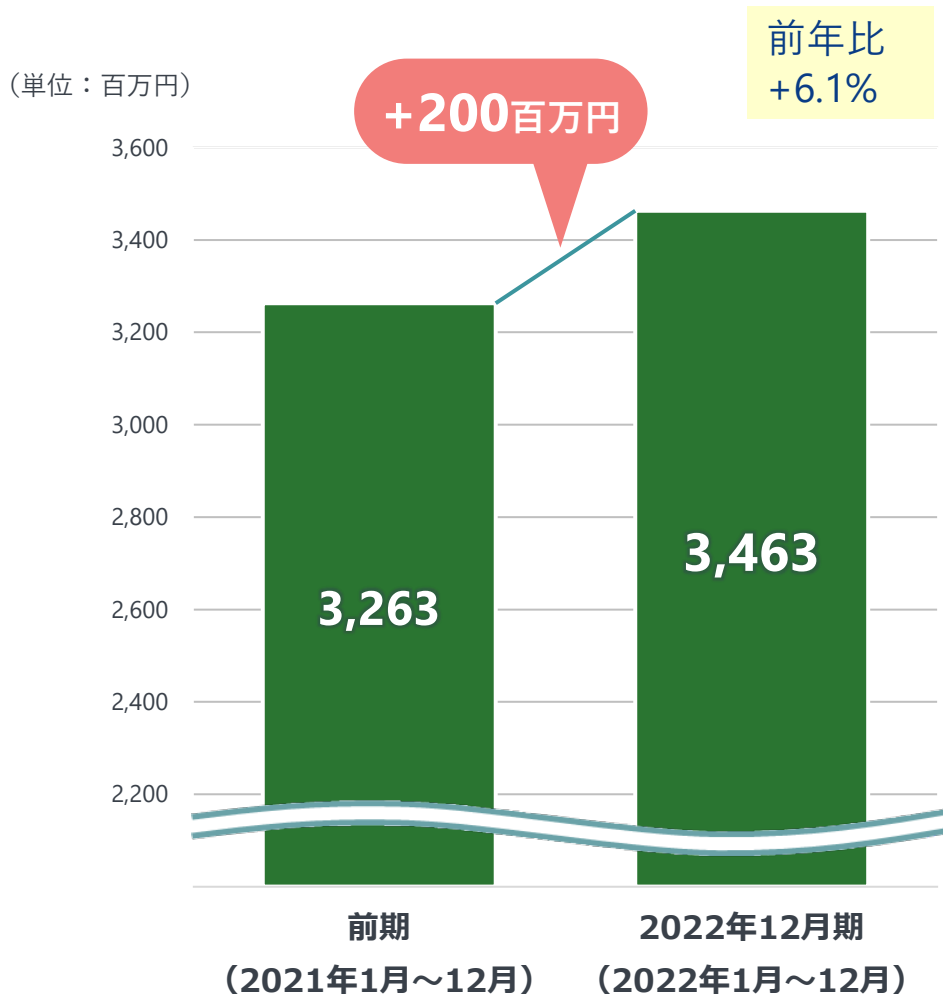
プリンタ用ドライバ開発、
車載ソフトウェア開発案件が好調に推移

業務ソフトウェア開発

金融系、公共系及び流通系システム開発案件が
好調に推移

2. セグメント別売上高 2 / 2

サービス事業

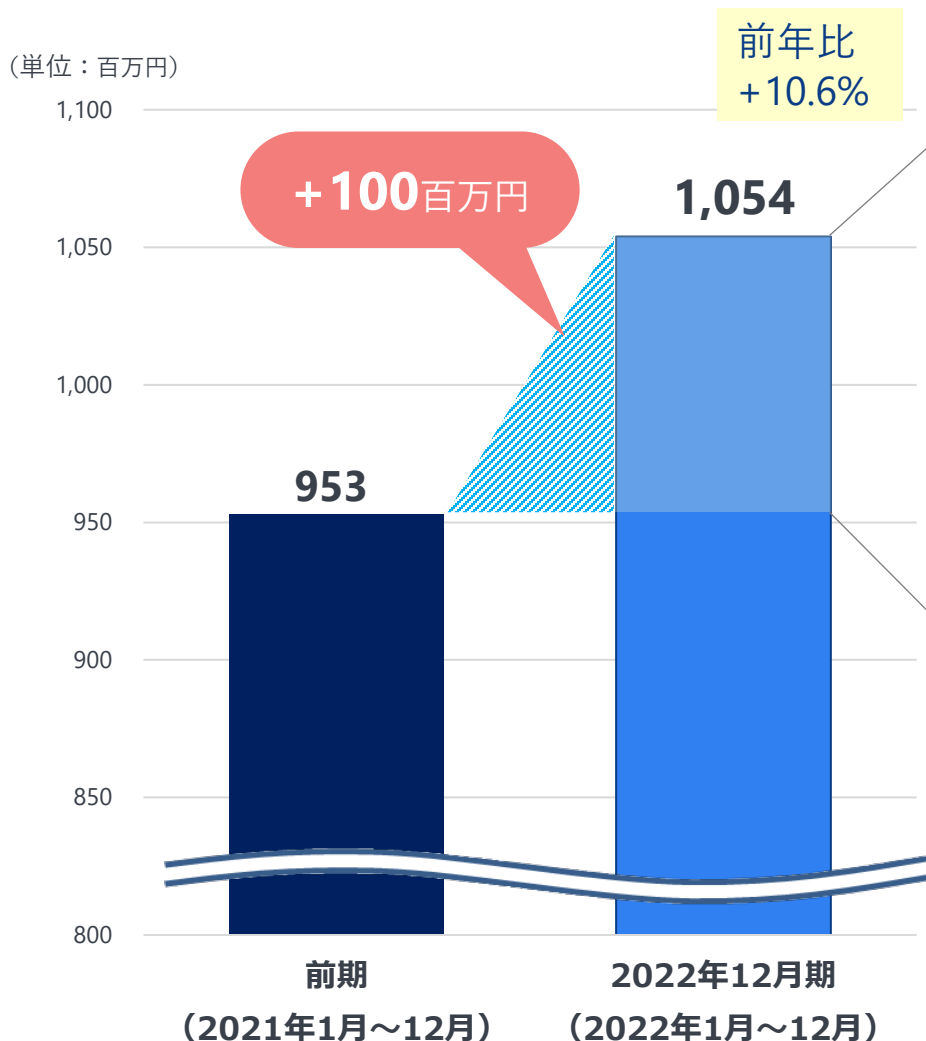


TOPICS

- ◀ **S I サービス (構築・保守・運用・評価検証)**
 - ・社会インフラ及び金融系を中心とした仮想化やクラウドへの移行案件、ネットワーク構築案件が好調に推移
 - ・第5世代移动通信 (5G) の基地局検証案件が好調に推移
- ◀ **プロダクト**
 - ・ *Cyber Smart*[®] シリーズ製品において、クラウド使用料の増加等により堅調に推移

3. 営業利益

営業利益増減分析



■ 増益要因 +154百万円

- ・ 売上高の増加による増益 (+150)
- ・ その他諸費用の減少による増益 (+4)

■ 減益要因 ▲54百万円

- ・ 販売力強化費用の増加による減益 (▲34)
- ・ 研究開発費用の増加による減益 (▲20)

営業利益の増加要因

販売力強化費用、研究開発費用等の増加があったものの、増収効果に加えその他諸費用の減少により、前年に比べ増益となりました。

Ⅱ. 中期計画状況（2021～2023年度）



1. 基本方針

中期方針（2021~2023年度）

「サイバーコムビジョン2023～増収増益の継続～」

1. 満足度の追求
2. サービス提供型ビジネスへの転換
3. 戦略的投資による拡大

2023年度基本方針

「ビジネス拡大！」

環境経営方針

『環境』と『暮らし』をICTで支える

2. 2023年12月期 業績予想

(単位：百万円)

	2022年12月期 (2022年1月～12月)	2023年12月期 (2023年1月～12月)	前期差	前期比
売上高	16,628	17,600	+971	+5.8%
営業利益	1,054	1,200	+145	+13.8%
(営業利益率)	6.3%	6.8%	-	-
経常利益	1,084	1,200	+115	+10.7%
(経常利益率)	6.5%	6.8%	-	-
当期純利益	804	810	+5	+0.7%
(当期純利益率)	4.8%	4.6%	-	-

■売上高

「ビジネス拡大」を基本方針として掲げ、DXへの対応力強化、好調分野への集中投資、高付加価値ビジネスの拡大により、売上高としては176億円と増収を見込んでおります。

■営業利益

技術者不足解消に向けた新卒及び経験者採用施策の強化、高度最先端技術教育強化による技術者育成、情報セキュリティ対策の強化や業務の効率化に向けた情報システム投資、社員が快適に働ける環境づくりに向けた費用を見込み、営業利益は12億円と増益を見込んでおります。

■当期純利益

当期純利益は8億10百万円（当期比0.7%増）を見込んでおります。

3. 中期業績予想 1 / 2

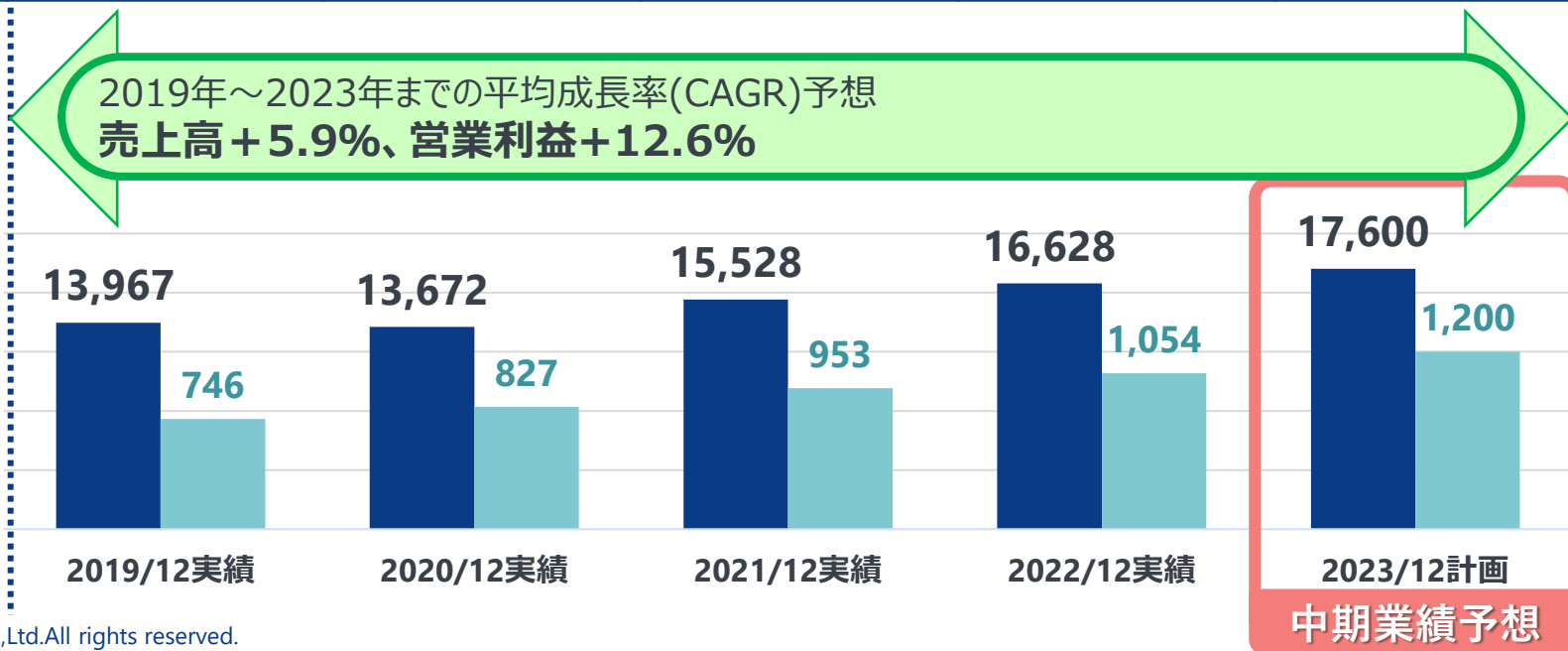
(1) 2019年から2023年までの平均成長率予想

2022年12月期実績を反映し、2023年12月期業績予想を上方修正

※今期は現在の中期計画（2021年～2023年）の最終年度となります。

(単位：百万円)

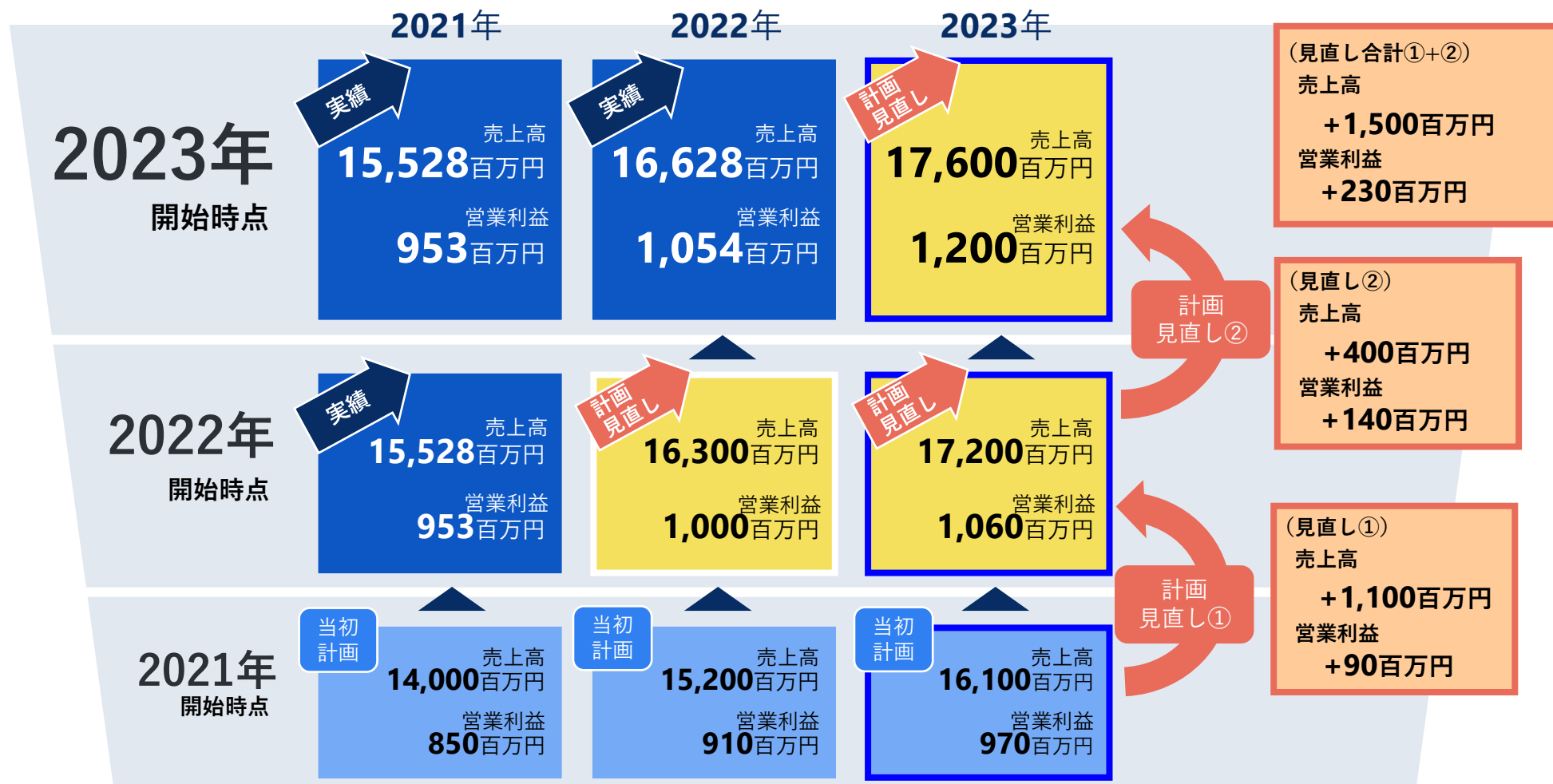
	2019年 12月期実績	2020年 12月期実績	2021年 12月期実績	2022年 12月期実績	2023年 12月期計画
	中期計画：2021年～2023年				
売上高	13,967	13,672	15,528	16,628	17,600
営業利益	746	827	953	1,054	1,200
(営業利益率)	5.3%	6.1%	6.1%	6.3%	6.8%



3. 中期業績予想 2 / 2

(2) 中期業績予想の見直し状況

■ 当初計画を大幅に上回る業績予想

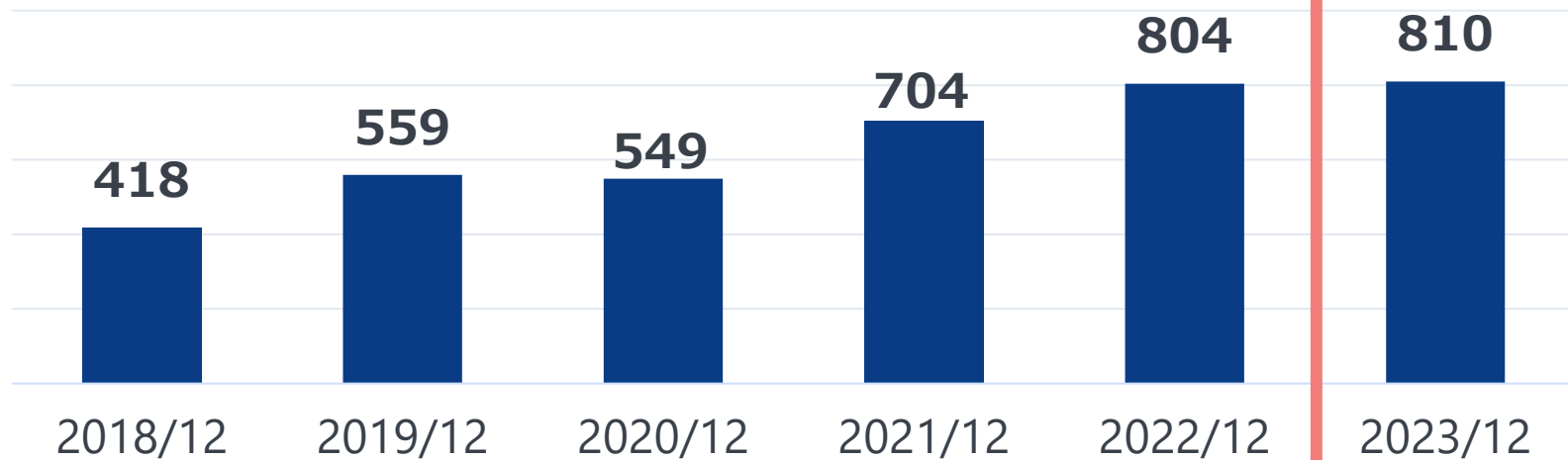


4. 自己資本当期純利益率 (ROE)

■ 収益確保によるROE向上

- ・ 本業での収益確保(営業利益計画の達成)
- ・ ROEの向上

(単位：百万円)



	2018年12月	2019年12月	2020年12月	2021年12月	2022年12月	2023年12月
営業利益	608百万円	746百万円	827百万円	953百万円	1,054百万円	1,200百万円
当期純利益	418百万円	559百万円	549百万円	704百万円	804百万円	810百万円
1株当たり 当期純利益	52.16円	69.75円	68.45円	87.86円	100.25円	100.98円
自己資本 当期純利益率(ROE)	9.3%	11.5%	10.4%	12.2%	12.6%	11.6%

810

2023/12

2023年12月

1,200百万円

810百万円

100.98円

11.6%

予想

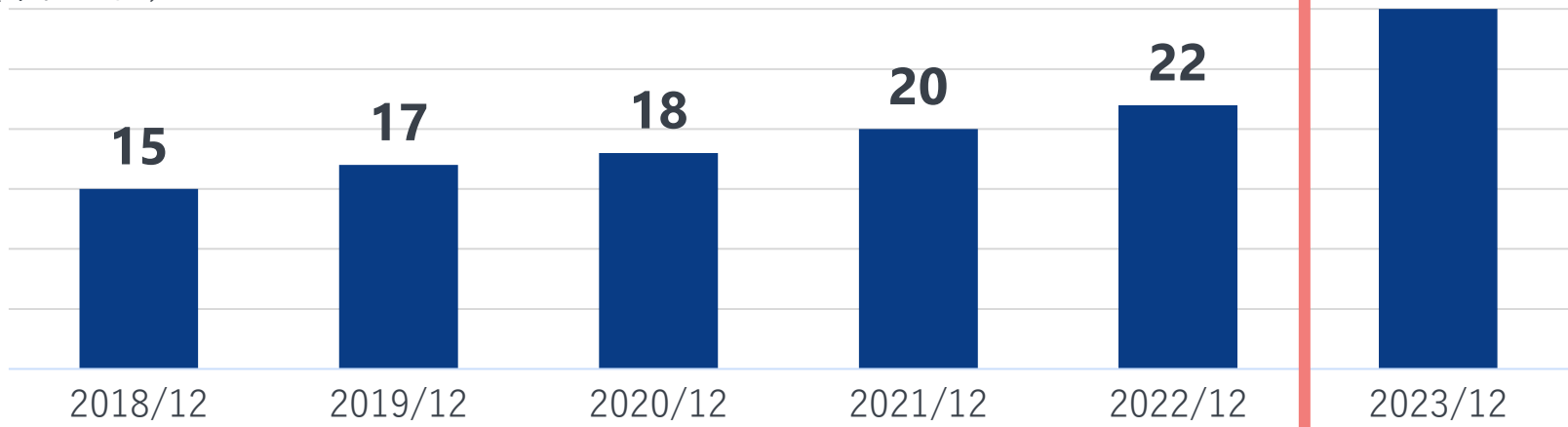
5. 配当状況

「安定した配当」
を継続して実施

- ・ 増配の継続
- ・ 配当性向の向上（目標30%）
- ・ 純資産配当率の向上

(単位：円)

2023年度予想
+8円の増配



	2018年12月	2019年12月	2020年12月	2021年12月	2022年12月	2023年12月
1株当たり配当額	15円	17円	18円	20円	22円	30円
配当金総額	120百万円	136百万円	144百万円	160百万円	176百万円	240百万円
配当性向	28.8%	24.4%	26.3%	22.8%	21.9%	29.7%
純資産配当率	2.7%	2.8%	2.7%	2.8%	2.8%	3.4%

30

2023年度予想
+8円の増配

30円

240百万円

29.7%

3.4%

予想

Ⅲ. 今後の経営戦略



1. 成長戦略 1 / 4

(1) ソフトウェア開発事業

「ビジネス拡大」

DX対応力の強化、好調分野への集中投資



5G技術(Beyond 5G ready)の高度化

超高速モバイル通信技術の増強

通信
ソフトウェア

仮想化対応技術者の増強

IoT技術領域の拡大

官公庁や公共系への提案強化

クラウド技術者の増強
(AWS、Azure、GCP)

AI(画像認識、予測)、
RPA技術者の増強

業務
ソフトウェア

IoT技術をベースに
DX対応技術を高度化



制御
ソフトウェア

AI技術を活用し
ロボット制御への挑戦

CASE、MaaSの
モビリティ系への展開



1. 成長戦略 2 / 4

(2) サービス事業 S I サービス

「高付加価値ビジネス拡大」
エンドユーザー拡大、プロダクト連携による受注強化

多様化する基盤への対応力強化
(クラウド、仮想化等)

サーバ
ネットワーク
構築

構築系技術者の増強

サイバーセキュリティ技術、
ネットワーク仮想化技術の高度化



次世代通信規格への対応

評価・検証

運用保守

テスト自動化支援ツール
による効率化

運用設計技術者の増強
(Zabbix、JP1等)

RPA活用による
効率化の推進

1. 成長戦略 3 / 4

(3) サービス事業 / 自社プロダクト 1 / 2

① プロダクトメニュー

Cyber Smart[®] シリーズ



お客様のニーズに応じて
カスタマイズできる
オフィス電話ソリューション

- ・ Cyber CTI
- ・ Cyber IP-PBX
- ・ Cyber Phone 等

Cyber Position Navi Plus[®] Bluetooth with AoA technology

工場・倉庫からオフィスまで /
誤差10cmの高精度で
人やモノの動作を正確に把握

屋内位置情報ソリューション Cyber Position Navi Plus

—ポジナビプラス

- ◎ 小規模から大規模空間までポイントで位置がわかる
- ◎ 詳細な移動軌跡から動線解析できる
- ◎ ヒートマップで、より視覚的にわかる
- ◎ 滞在時間、移動時間がわかる

Cyber Position Navi[®] with BEACON & GPS



人やモノの位置情報を把握する
ソリューションサービス

- ・ Cyber Position Navi
：ポジナビ(2022年11月Oracle Cloud版
ポジナビ販売開始)
- ・ Cyber Position Navi Plus
：ポジナビプラス(誤差10cmの高精度)

楽々セキュアコネクト[®]



ご利用中のインターネット
回線や機器はそのままで
簡単・安全に実現できる
クラウドVPNサービス
※2023年1月東証コンピュータ
システム様への提供開始

1. 成長戦略 4 / 4

(3) サービス事業 / 自社プロダクト 2 / 2

② サービス・プロダクトの製品・販売戦略

製品戦略



- ・ 主力プロダクトの強化
- ・ アライアンスによる付加価値の向上
- ・ 新サービスの創出

販売戦略



- ・ WEBマーケティングの高度化
- ・ PR活動の強化
- ・ 各種展示会出展による知名度向上

2. 重点施策 1 / 2

(1) 積極的な人財投資

①人財採用の強化

- ・ 新卒採用 130名
多様な人財の積極採用
- ・ 経験者採用 30名
業界未経験者採用の強化
- ・ パートナー様の新規開拓
および連携強化



②人財育成の強化

- ・ スペシャリストの増強
高度最先端技術教育の強化
注力分野の資格取得推進
- ・ 階層別研修の強化
リーダー職／管理職育成
- ・ 女性社員の活躍推進



③働き方改革の推進

- ・ 在宅勤務の推進
- ・ 有給休暇の取得推進
- ・ 残業時間の低減
- ・ 子育て支援施策の推進



④社員エンゲージメントの向上

- ・ キャリアパスの再構築
評価制度の見直し
- ・ 社員が快適に働くことができる環境の整備
- ・ インフレサポート一時金支給
(全社員に月1万円×12ヶ月=12万円)



2. 重点施策 2 / 2

(2) サステナビリティへの取り組み

- ・環境に配慮した経営の実践
- ・事業活動を通じた社会の課題解決
- ・社員へのSDGs啓蒙活動の実施

環境経営方針

『環境』と『暮らし』を
ICTで支える

E：環境活動

- ・電気使用削減によるCO2削減
- ・ガソリン使用削減によるCO2削減
- ・ごみの削減とリサイクル
- ・紙の使用量の削減
- ・水の使用量の削減



S：社会貢献

- ・事業による省エネ推進
- ・社会貢献活動への協賛
- ・女性活躍の推進
- ・働き方改革の推進
- ・社員のスキルアップのサポート



G：ガバナンス

- ・コーポレートガバナンス体制の強化
- ・法令やCyberComWayの遵守（企業理念/行動憲章/行動規範）
- ・ハラスメント防止対策強化



参考資料

1. 決算補足資料
2. プロダクト紹介

(1)貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 2021/12	当期末 2022/12	前期末差
流動資産	7,502	7,082	▲419
現金及び預金	912	2,005	1,093
受取手形、売掛金及び契約資産	3,509	3,420	▲89
有価証券	0	1,500	1,500 ①
商品	6	4	▲1
仕掛品	88	50	▲38
短期貸付金	2,842	0	▲2,842 ②
その他	142	100	▲42
固定資産	3,635	3,678	42
有形固定資産	2,478	2,435	▲42
無形固定資産	18	12	▲6
その他	1,138	1,230	91
資産合計	11,137	10,760	▲377
流動負債	2,765	2,606	▲159
買掛金	598	603	5
未払費用	504	361	▲143
未払法人税等	430	150	▲280
賞与引当金	722	1,013	290
役員賞与引当金	28	39	10
その他	480	437	▲43
固定負債	2,326	1,465	▲861
退職給付引当金	2,288	1,420	▲868 ③
役員退職慰労引当金	38	45	7
負債合計	5,092	4,071	▲1,020
純資産合計	6,044	6,688	643
負債純資産合計	11,137	10,760	▲377

主な増減要因

- ① 合同運用指定金銭信託での資金運用開始による増加
- ② CMSでの資金運用解消による減少
- ③ 退職給付信託の設定による減少

※CMSとはキャッシュ・マネジメント・システムの略称であり、当社では富士ソフト株式会社に余剰資金の貸付を行っております。

◇ご参考

	2021年12月末	2022年12月末
1株当たり純資産	753.64円	833.88円
自己資本比率	54.3%	62.2%

(2) キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	前期 (2021年1月～12月)	当期 (2022年1月～12月)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,043	▲53	▲1,096
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲907	1,306	2,213
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲143	▲160	▲16
現金及び現金同等物の増減額	▲7	1,093	1,100
現金及び現金同等物の期首残高	919	912	▲7
現金及び現金同等物の期末残高	912	2,005	1,093

営業活動によるキャッシュ・フロー

退職給付信託の設定額10億円等により、53百万円の支出（マイナス）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

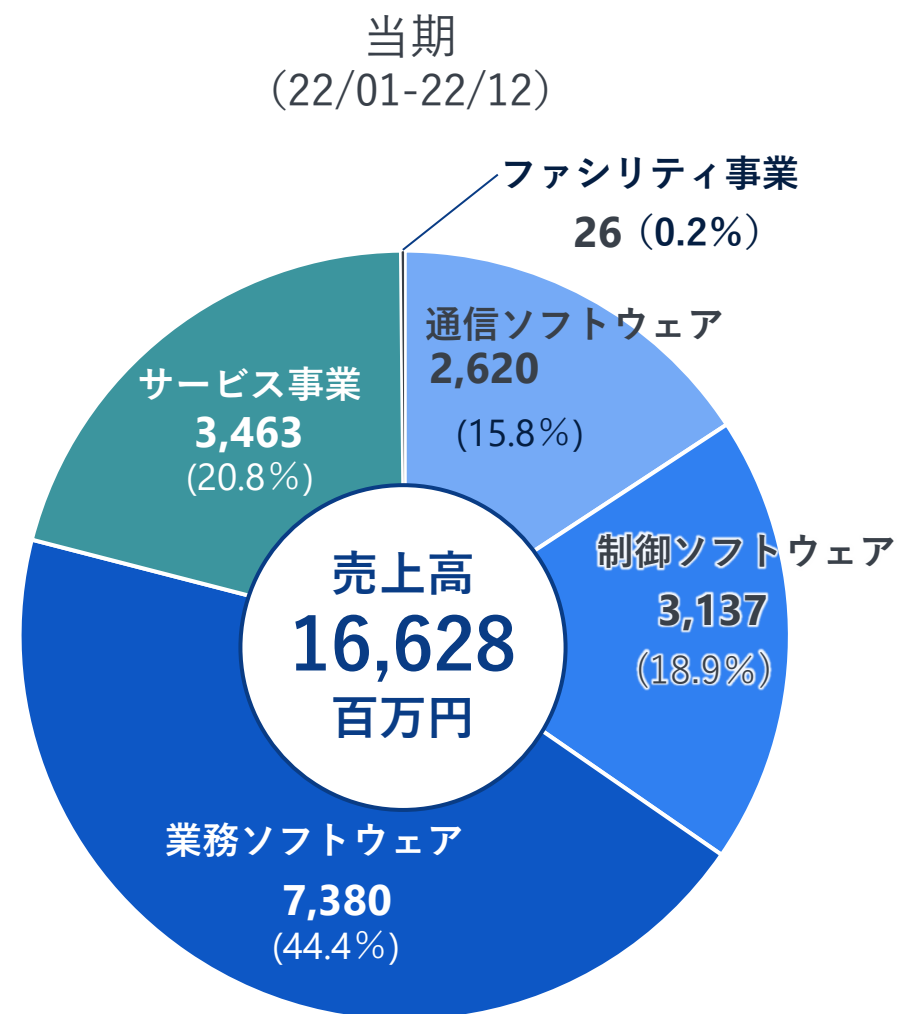
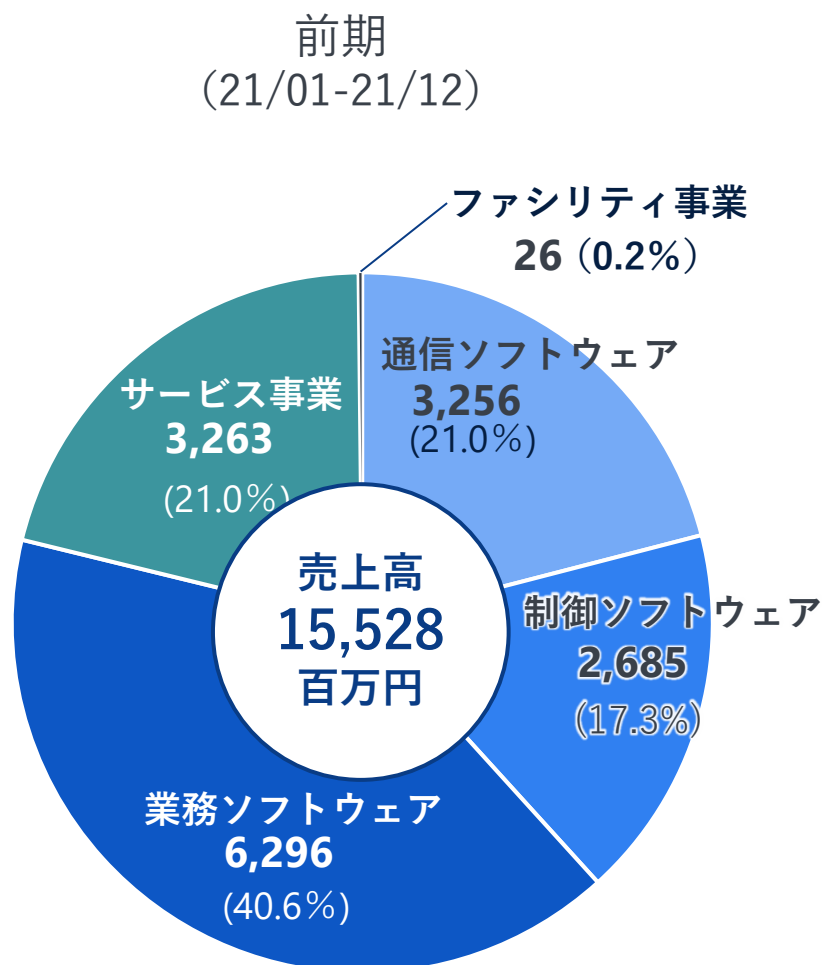
CMS（キャッシュ・マネジメント・システム）への短期貸付金の回収額28億43百万円や有価証券の取得額15億円等により、13億6百万円の収入（プラス）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いを行い1億60百万円の支出（マイナス）となりました。

(3)セグメント別売上高（1 / 2）

（単位：百万円）

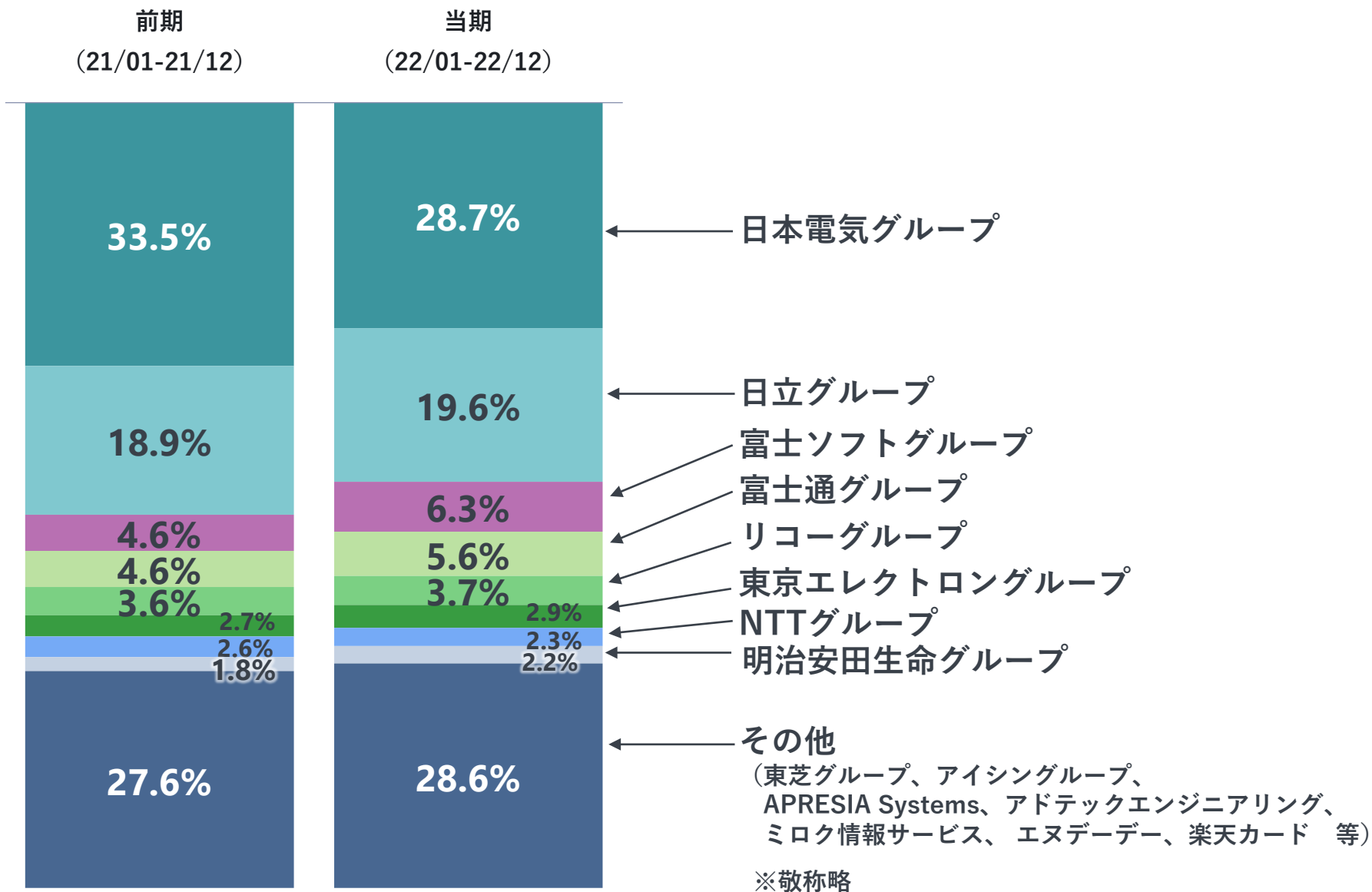


(3)セグメント別売上高 (2 / 2)

(単位：百万円)

	前期			当期			
	(2021年1月～12月)			(2022年1月～12月)			
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期差	前期比
ソフトウェア開発事業	12,238	78.8%	+14.4%	13,137	79.0%	899	+7.3%
通信ソフトウェア開発	3,256	21.0%	+40.2%	2,620	15.8%	▲636	▲19.5%
通信基盤	2,826	18.2%	+58.3%	2,258	13.6%	▲568	▲20.1%
その他通信	429	2.8%	▲20.2%	362	2.2%	▲67	▲15.8%
制御ソフトウェア開発	2,685	17.3%	▲1.3%	3,137	18.9%	452	+16.8%
車載	1,312	8.5%	▲15.9%	1,433	8.6%	121	+9.3%
その他制御	1,372	8.8%	+18.3%	1,703	10.2%	330	+24.1%
業務ソフトウェア開発	6,296	40.6%	+11.5%	7,380	44.4%	1,083	+17.2%
金融	1,713	11.0%	+4.7%	2,667	16.0%	953	+55.7%
公共	908	5.8%	+6.2%	1,121	6.7%	212	+23.5%
情報通信	971	6.3%	+8.7%	909	5.5%	▲61	▲6.4%
製造	891	5.7%	+30.3%	761	4.6%	▲130	▲14.6%
流通	625	4.0%	+47.2%	722	4.3%	97	+15.6%
医療	507	3.3%	▲15.0%	465	2.8%	▲42	▲8.3%
その他業務	679	4.4%	+21.7%	732	4.4%	53	+7.8%
サービス事業	3,263	21.0%	+11.5%	3,463	20.8%	200	+6.1%
ファシリティ事業	26	0.2%	▲47.3%	26	0.2%	▲0	▲0.2%
合計	15,528	100.0%	+13.6%	16,628	100.0%	1,099	+7.1%

(4)顧客別売上構成比



(5)セグメント別受注高・受注残高

2022年12月期

(単位：百万円)

	受注高	前期比	売上高	前期比	受注残高	前期比
ソフトウェア開発事業	13,259	+6.7%	13,137	+7.3%	2,120	+6.1%
サービス事業	3,422	+3.7%	3,463	+6.1%	549	▲7.0%
ファシリティ事業	20	▲18.5%	26	▲0.2%	17	▲27.6%
合計	16,701	+6.1%	16,628	+7.1%	2,687	+2.8%

●ソフトウェア開発事業

制御ソフトウェア開発及び業務ソフトウェア開発の受注が好調に推移し増加となりました。

●サービス事業

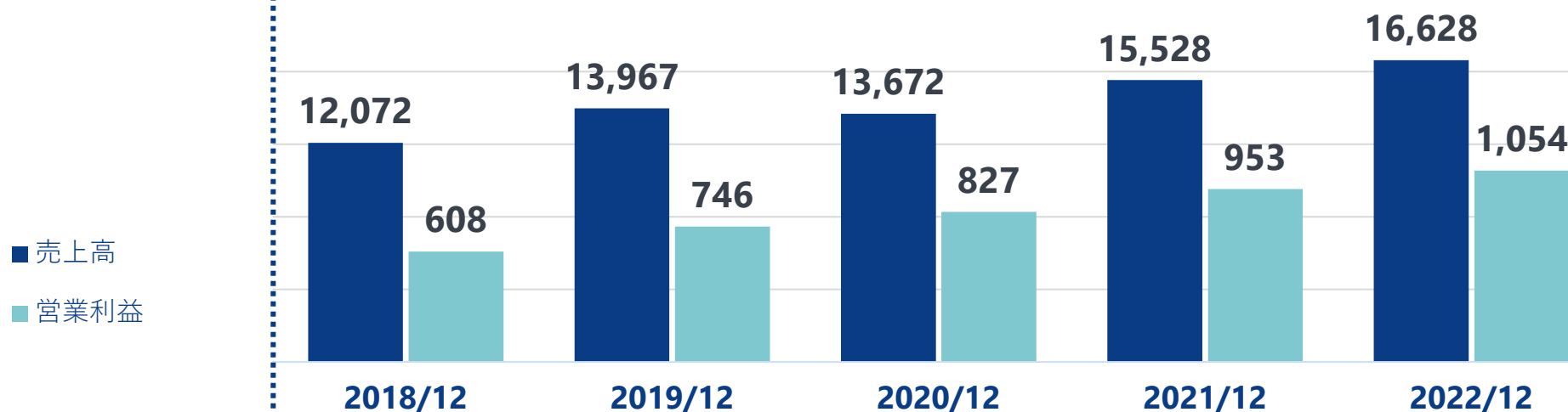
S I サービス（構築・保守・運用・評価検証）の受注が堅調に推移したことに加え、*Cyber Smart*®シリーズ製品を中心とした自社プロダクトも堅調に推移し増加となりました。

(6)業績推移（過去5年）

（単位：百万円）

	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期	2021年 12月期	2022年 12月期
売上高	12,072	13,967	13,672	15,528	16,628
営業利益	608	746	827	953	1,054
（営業利益率）	5.0%	5.3%	6.1%	6.1%	6.3%

2018年度～2022年度の平均成長率(CAGR)
売上高+8.3%、営業利益+14.7%



(1) プロダクトご紹介

驚きの簡単さでテレワークを実現
インターネットVPN

楽々セキュアコネクト



屋内外の位置測位に対応
位置情報ソリューション

Cyber Position Navi
(ポジナビ)



屋内の高精度位置情報測位
動線見える化で工場の生産性向上

Cyber Position Navi Plus
(ポジナビプラス)



カスタマイズ自在の
コールセンターシステム

Cyber CTI



オフィス電話のコスト削減に
ソフトウェアIP PBX

Cyber IP-PBX



オフィス内線化で
ビジネスチャンスを逃さない

Cyber Phone



【注意事項】

本資料に記載されている業績予想並びに将来に関する情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的に判断したものであり、その安全性を保証するものではありません。実際の業績は、市場動向や経済情勢ならびに事業環境の変化など様々な要因により、大きく異なる結果となる可能性があります。

また、本資料は当社をご理解いただく目的で作成したものであり、当社株式に関する投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に関するお問い合わせ先

サイバーコム株式会社
管理本部 総合管理部 総合管理室
TEL：045-681-6001
E-MAIL：koho@cy-com.co.jp